

タイトル 販売事業における菓子メーカーとの提携と農業金融支援強化

JA名 JAふらの(北海道)

1 動機 (経緯)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 農産物価格の低迷や担い手不足により農家の収入が減少し、離農者が増える中、農業経営の規模拡大や農産物の販路拡大が急務となっていました。 ➤ JAによる販路開拓や農家の経営規模拡大を支援するため、菓子メーカーとの提携による新工場建設と農業金融の強化を企画したものです。 ➤ 菓子メーカーとの業務提携に伴い菓子製造工場建設して原料であるジャガイモの安定的な需要拡大と、農産物の付加価値を高めることに成功するとともに、担い手不足で悩む農家への金融・生産体制の面からの支援（機能提供）を強化することにより、農作物の生産規模を拡大し、安定的な供給体制を確立することに成功しました。 ➤ 一方で、新工場建設に伴い新規雇用も生み出せるほか、見学施設も整備し、町の地域振興としても期待されています。
2 概要	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 菓子メーカーの「湖池屋」(コイケヤ)と業務提携をすることでJAがポテトチップスの新工場を建設し、受託製造を大規模に展開。 ➤ 新工場の稼動に伴い原料ジャガイモは新たに作付けを300ha増やし、JAが農家から全量買い取る等して年間1万トンの需要が発生。 ➤ JAでは農家の作付け拡大に伴う新たな資金需要について適切に金融面から支援するとともに、農業用機械等の大型設備投資の負担を軽減させるべく、リースやコントラクター事業も展開。
3 成果 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 農業生産物の安定供給先の確保にとどまらず、農産物の高付加価値化も実現したことから、農家経営の安定化や地域経済の活性化をもたらした。 ➤ 農家はあらたな設備投資負担の対策に悩まされることなく、生産規模を拡大することが可能となったことで農業の大規模化が促進されるとともに、不耕作地も積極的に活用されるようになりました。 ➤ また、新工場建設で地域の雇用創出にも貢献しているほか、見学施設の利用拡大で町の地域振興にも寄与しています。
4 今後の 予定(課題)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 農家の経営規模拡大に伴う金融・経営指導の両面からのサポートの強化。